

各ツールの使い方

(1) 一般発達検査票

チェック

- 子どもの年齢のところからはじめ、各々の領域（6領域）について、実際にできれば○、できなければしをつける。
- 各々の領域で、上に向かって進み、しが3つ続いたら止める。また下に向かって進み、○が3つ続いたらやめる。各領域で少なくとも上下6個の枠に○かしの印が連続してつくことになる。
- ○し○しと交互になった場合も、下に○が3つ、上にしが3つ続くまで上下に進む。
- 一番上の枠や、下の枠に達した場合はそこで止める。

※暦年齢8か月の乳児の例

1:06	走る	コップからコップへ水を移す	パンツをはかせる時、両足を広げる	困難なことに出会うと助けを求める	絵本を見て1つの物の名前を言う	絵本を読んでもらいたがる
1:04	靴をはいて歩く	積木を二つ重ねる	自分の口もとをひとりで拭こうとする	簡単な手伝いをする	3語言える	簡単な指示を実行する（「新聞を持っていらしゃいりなごう」）
1:02	2〜3歩を歩く	コップの中の小粒を取り出そうとする	お菓子の包み紙を取って食べる	ほめられると同じ動作を繰り返す	2語言える	要求を理解する（3/3）（おいで、ちょうだい、ねんね）
1:00	座った位置から立ち上がる	なぐり書きをする	おでこで食べようとする	主義育者の後追いをする	言葉を1〜2語、正しくまねる	要求を理解する（1/3）（おいで、ちょうだい、ねんね）
0:11	つたい歩きをする	おもちゃの車を手で走らせる	コップを自分で持って飲む	人見知りをする	音声をまねようとする	「バイバイ」や「おやなら」の言葉に反応する
0:10	つかまって立ち上がる	びんのふたを開けたり閉めたりする	泣かずに欲求を示す	身振りをまねする（オツムテンデンなど）	さかんにおしゃべりする（喃語）	「いけません」と言うと、ちよつと手を引く
0:09	物につかまって立っている	おもちゃのたいこをたたく	コップなどを両手で口に持つ	おもちゃを取られると不快を示す	タ、ダ、チャなどの音声が出る	知っている人の声を聞き分け
0:08	ひとりで遊んで遊ぶ	親指と人差し指でつかもうとする	顔を拭こうとするといやがる	鏡を見て笑いかけたり話しかけたりする	マ、バ、パなどの音声が出る	声の方に振り向く
0:07	腹ばいで体を回す	おもちゃを一方の手から他方に持ち替える	コップから飲む	親しみと怒った顔が分かる	おもちゃなどに向かって声を出す	相手の話し方で感情を聞き分け（禁止など）
0:06	寝返りする	手を出して物をつかむ	ビスケットなどを自分で食べる	鏡に映った自分の顔に反応する	人に向かって声を出す	見て笑いかける
0:05	横向きに寝かせると寝返りする	ガラガラが振らる	おもちゃを見るとき動きが活発になる	人を見るとき笑いかける	キヤーキヤー音	主義育者の声と他の人の声を聞き分ける
0:04	首がすわる	おもちゃをつかんでいる	さじから飲めることができる	あやされると声を出して笑う	声を出して笑う	話しかけられた方を向こうとする
0:03	仰向けにして体を起こした時、頭を保つ	顔に触れた物を取ろうとして手を動かす	顔に布をかかれて不快を示す	人の声がする方に向く	泣かずに声を出す（アー、ウア、など）	人の声で静まる
0:02	腹ばいで頭をちょっと上げる	手を口を持っていてしゃぶる	満腹になると乳首を舌で押し出したり顔を背けたりする	人の顔をじいっと見つめる	いろいろな泣き声を出す	話しかけられた方を見る
0:01	仰向けで時々左右に首の向きを変える	手に触れた物をつかむ	空腹時に抱くと顔を乳の方に向けて欲しが	泣いている時、抱き上げると静まる	元気な声で泣く	大きな音に反応する
年齢	粗大運動	微細運動	生活技術	対人技術	表現	理解
	運動発達		社会性発達		言語発達	

集計

- 一番上の○の位置（年齢/月齢）より下にあるしの数だけ、一番上の○の位置から下がる。
- 上記の例の場合、暦年齢は8か月、粗大運動発達9か月、微細運動7か月、生活技術8か月、対人技術8か月、表現9か月、理解7か月と集計する。

(2) 社会的スキル尺度 (協調：ピンク、自己制御：緑、自己表現：青)

項 目	2010 年			
	いつも	時々	ない	不明
1 誰かが話をしたら顔を見る	2点	1点	0点	
2 誰かが話をしたら何らかの明らかな反応をする				
3 何かしてもらおうと、嬉しそうな顔をする				
4 気持ちを顔に出す				
5 挨拶をする				
6 人に近づきおしゃべりをする				
7 話をする時には顔を見る				
8 誘われれば遊び仲間に入れる				
9 他の子に思いやりの行動を示す				
10 他の子に攻撃的な態度をとらない				
11 自分の姓と名を言える				
12 見たり聞いたりしたことを自分から話せる				
13 「あとで」と言われて待つことができる				
14 持っている物を他の子と分け合う				
15 人の話を最後まで聞く				
16 順番がわかる				
17 おもちゃの貸し借りをする				
18 必要な場面ではお行儀よくしてられる				
19 欲しい物があっても説得されれば我慢できる				
20 大勢の人の中でだだをこねない				
21 けがをした友だちを助ける				
22 寂しそうな友だちを元気づける				
23 誰かが失敗すると励ましたり慰めたりする				
24 誰かが上手にできたら嬉しい				
25 誰かが上手にできたら「じょうず」とほめる				
26 いいと思ったらその人に「いいね」と言う				
27 友だちに何か頼まれると手助けする				
28 自分から友だちを手伝う				
29 自分にできることはないか聞く				
30 自分の意見と違っていても皆の決めたことに従う				

集計

- 点数は、3つの分類 (協調、自己制御、自己表現) の各10項目について、いつも2点、ときどき1点、ない0点、不明0点として、3つの分類 (3因子) の因子ごとの得点を算出する。

(3) 気になる子どもチェックリスト

チェック

- 「気になる行動」は、同じ年齢の子どもと比較して「普通ではない」と考えられるほど、「気になる」項目のみにチェックが入る。たとえば、「人見知り」のように、発達のある段階で普通に見られるものについては、その該当する年齢では「気になる行動」としない。
- 「子どもの気になる行動があるかどうか」に対して「ない」場合は、そこで終了。
- 「ある」場合は、気になる行動の「33項目」について、当てはまるか否かチェックする。
- 33項目の中に当てはまる項目があった場合、内容の詳細をについて「ある」か「ない」か、考えられる背景要因は何なのかをチェックする。

(4) 育児環境評価ツール（よりよい子育て支援についてのお尋ね）

チェック

- 択一項目は、当てはまる番号ひとつに○をつける。
- 複数選択項目は、当てはまるものすべてに○をつける。
- 遊ぶ時間や、睡眠時間などは、数字を記入する。